

平成23年度
実施事業

事務事業名 小学校周辺整備事業

| 区分 | No | 名称 |
|--------|-----|---|
| 章 | 5 | 豊かな個性と人間性を育むまち |
| 節 | 2 | 学校・家庭・地域と連携し心豊かな人間性を育む |
| 施策 | 2 | 地域に根ざした魅力ある学校づくり |
| 小分類 | 3 | 教育環境の充実 |
| 主要な施策 | 1 | 児童生徒の安全確保 |
| 事務事業番号 | 015 | 事業開始年度 平成 4 年度 事業終了年度 平成 - 年度 会計種別 一般会計 |

| | | | |
|-----|-----|-------|--------|
| 部 名 | 教育部 | グループ名 | 総務グループ |
|-----|-----|-------|--------|

事務事業の概要

《Plan・Do》

| | |
|----------|---|
| 目的 | (事務事業の実施目的を具体的に記入してください) |
| | 児童等が安心して学校生活を送ることが出来るよう、教育環境の改善を図ることを目的とする。 |
| 事業内容及び実績 | (事業内容及び平成23年度の実績を具体的に記入してください) |
| | 小学校は、給水管の老朽化、校舎敷地内の舗装、雨水排水、グラウンドの暗梁排水等の整備が必要であり順次準備を進める。 【平成22年度補正】 事業費 2,342千円 ・青葉小学校排水路整備工事 |
| 今後の方向性 | (次年度以降の事業展開における改善など今後の方向性を具体的に記入してください) |
| | 教育環境の改善を図り、子ども達が安全で安心な学校生活の環境整備を実施する。 |
| 根拠法令等 | (事業を実施する際、根拠となる法令・条例・規則・要綱等の名称を全て記入してください) |
| | 学校教育法 |

事業費（財源内訳）の推移

《Plan・Do》

| 区分 | | 単位 | H22年度 決算 | H23年度 決算 | H24年度 当初予算 | H25年度 見込 | H26年度 見込 |
|--------|----|----|-------------|-------------|---------------|-------------|-------------|
| 国庫支出金 | 名称 | 千円 | 4,757 | 1,452 | | | |
| 道支出金 | 名称 | 千円 | | | | | |
| 地方債 | 名称 | 千円 | | 800 | | | |
| その他 | 名称 | 千円 | | | | | |
| 一般財源 | 名称 | 千円 | | 90 | | 16,748 | 8,700 |
| 事業費 合計 | | | 4,757 | 2,342 | 0 | 16,748 | 8,700 |

指標の推移

《Check》

| 区分 | | 単位 | 区分 | 22年度 実績 | 23年度 実績 | 24年度 目標 | 25年度 目標 | 26年度 目標 |
|----------|---------|----|-----|------------|------------|------------|------------|------------|
| 成果 指標 | 整備した小学校 | 校 | 目標値 | 1 | 2 | 1 | 3 | 2 |
| | | | 実績値 | 1 | 2 | | | |
| | | | 目標値 | | | | | |
| | | | 実績値 | | | | | |



担当グループによる事務事業評価の内容（複数回答可）

| 1. 事務事業の妥当性について | | | |
|-----------------------------------|--|------------------------|---|
| 市が事業主体として実施していくべき妥当性の高い事業ですか？ | | 市が主体に行うべき事業である | 判断理由 及びその 他所見 市内小学校施設敷地で、支障をきたしている箇所を年次的に整備を行うものであり、児童・生徒等が快適な環境の中で学習することができるように、行政が整備することが妥当と考える。 |
| | | 民間(事業者、市民団体等)でも実施可能である | |
| | | 国、道、他団体等との連携や広域化が可能である | |
| | | 国、道、民間等の事業と重複・類似している | |
| 2. 事務事業の必要性について | | | |
| 市民ニーズの状況等から勘案して、必要性の高い事業ですか？ | | 市民、団体等から具体的な要望がある | 判断理由 及びその 他所見 小学校敷地内の遊具等の老朽化による取替を行い、児童等への安全な教育環境施設の整備が必要となる。 |
| | | 市民アンケートの結果から必要性が高い | |
| | | 社会情勢、地域事情等から必要性が高い | |
| | | 市民の大部分が関連することから必要性が高い | |
| 3. 事務事業の効率性について | | | |
| 事業内容とコスト(事業費)のバランスがよい効率性の高い事業ですか？ | | 低予算、少労力で高い効果をあげている | 判断理由 及びその 他所見 遊具点検を行った結果より、支障を来している施設から整備を行っている。 |
| | | 市で実施するほうが民間委託より効率性が高い | |
| | | 多額の経費や労力を要するがやむを得ない | |
| | | 将来的に効率性を向上できる | |
| 4. 事務事業の成果について | | | |
| 目的を達成するための成果はあがっていますか？ | | 成果指標の向上が見られる | 判断理由 及びその 他所見 遊具点検の実施と取替等を行うことで、安全な教育環境の改善を図っている。 |
| | | 市民、団体等の声から成果を感じられる | |
| | | 目に見える形で成果があがっている | |
| | | 成果の把握は困難である | |

担当グループによる評価

| | | |
|-----------|----------------------|--|
| 維持 | 左記の評価を選択した具体的な理由（根拠） | 敷地内施設等の老朽化により、修理が困難で支障をきたしている箇所を改修し環境整備を進める。 |
|-----------|----------------------|--|

行政評価会議による評価

| | | |
|-----------|----|--|
| 維持 | 備考 | |
|-----------|----|--|